

## 経済倶楽部便り

◆東京◆ 講演会場のある東京・日本橋界隈は、伝統と新しさが共存する歴史ある街です。老舗商店も多く、40年近い当地勤務の中で正月の密かな楽しみが、松の内にいたたく「お年賀」集めです。以前はコーヒーカーップ、タオルなどまでありましたが、今年は七味唐辛子のみの入手。世知柄さが増してきたようです。

さて、2月の講演会には、辺真一氏（「コリア・レポート」編集長）、伊藤元重氏（東京大学大学院教授）、後藤謙次氏（政治ジャーナリスト）、大武健一郎氏（大塚ホールディングス副会長）をお招きします。

新会員を紹介します（順不同）。片山隆之・帝人顧問役、木下幸雄・住友重機械工業常勤監査役、品田良一・帆柴物流取締役、田北浩章・東洋経済新報社取締役編集局長。

（塚田 紀史）

◆中部◆ 今年は今明けから名古屋市・愛知県ではその活性化策が喧しい。理由はリアモーターにありません。2027年の開業ですが、年明けから地元の中日新聞が特集を組み、曰く「40分の衝撃」。既存の新幹線とほぼ同じ料金で名古屋・品川間が40分で繋がるようになり、名古屋が通勤圏に変貌します。もちろん「ストロー現象」で名古屋需要が東京に取り込まれるとの予想もありますが、そんな懸念を吹き飛ばすように地元ではある構想への機運が盛り上がっています。それが昨年末に決まった「航空宇宙産業特区」。税制優遇や規制緩和で、航空機産業を自動車に次ぐ柱に位置付ける想定です。ある地元財界人はいずれパリのような国際的な航空ショーを開催したいと意気軒高です。

2月の講演会は政治動向で評論家の屋山太郎氏、自動車産業の展望で日興シテイグループ証券の松島憲之氏、北朝鮮問題で早稲田大学国際教養学部の重村智計氏を予定しています。

（日暮 良一）

## 社団法人経済倶楽部（東京）ご紹介

**Q** 東京の経済倶楽部の主な事業は何ですか。

**A** 毎週金曜日の12時40分から2時近くまで開かれる定例講演会がいちばんの事業で、東洋経済ビル9階のホールが会場です。年に約45回、毎週末に日本橋へ出かけるのを楽しみにしている会員が多数おられます。

講演はいずれも一流講師による充実したもので、経済、経営、政治、国際を中心に、時折、健康、教養のテーマまで幅広いものとなっています。講演を読みやすく編集した『経済倶楽部講演録』が毎月、届けられますので、欠席の場合はもちろん、出席した場合でも読み直してくださる会員がたくさんおられます。

さらに毎月の経済金融懇話会、物申す会（会員相互の勉強会でいずれも無料）のほか、有料で事業所見学会（年2回）、ミニ見学会（随時）、銷夏・忘年パーティ

イ、ゴルフ親睦会などがあります。毎週、講演会のあとホールで映画鑑賞会（無料）があり内外の名画が上映されますが、こちらはご家族も自由に参加できます。

**Q** 会員制度はどのような仕組みですか。

**A** 会員は約660人で、法人会員（3名連記）と個人会員からなっています。個人は1親等に限り名義書換が無料で、半年会費が4万2000円です。入会は会員の紹介が基本ですが、紹介のない場合でも入会可能です。会員は講演会の聴講、『経済倶楽部講演録』の講読、各種企画への参加、ホールや会議室利用・食事・書籍雑誌購入などで割引の特典があります。

**Q** 『経済倶楽部講演録』だけ講読したいのですが。

**A** そのようなご希望をしばしばいただきますが、『講演録』は経済倶楽部の会員しか定期購読できません。裏表紙に「定価525円」と書いてありますが、これは会員が折々、友人などに進呈したいと希望された場合などのためのものです。